

平成 29 年度日本腰痛学会評議員会（社員総会） 議 事 録

【開 催 日 時】 平成 30 年 10 月 25 日 午後 5 時 00 分から午後 6 時 00 分まで

【開 催 場 所】 静岡県浜松市中区板屋町 111-1

アクトシティ浜松コンgresセンター 4F 41 会議室

【出席した評議員の人数】

67 名（理事 10 名、特別アドバイザー 0 名）

委任状 31 名

【議事録の作成に係る職務を行った者の氏名】

理事長 紺野慎一

【議事の経過の要領及びその結果】

理事長 紺野慎一 は、定款の定めにより議長となり、開会を宣言した。学術集会会長である松山幸弘理事より挨拶があったのち、直ちに議事に入った。

報告事項

1 庶務報告

幹事より、第 26 回学術集会の開催（平成 30 年 10 月 26 日（金）、27 日（土）（アクトシティ浜松）、理事会・評議員会の開催（平成 30 年 10 月 25 日（木））、編集委員会の開催（平成 30 年 10 月 26 日（金））、各委員会の開催について報告された。

平成 30 年 6 月 25 日に JSR 第 9 巻 6 号を発行した。投稿論文数が 17 編で、査読の結果 13 編が掲載された（一般投稿 4 編、学会の主題からの特集 9 編）であった。

平成 30 年 10 月 1 日現在の正会員は 941 名（名誉会員 18 名、特別会員 12 名）である。退会者は 70 名（物故会員 2 名）、賛助会員 19 社であった。

2 第 25 回日本腰痛学会収支報告

大川淳理事より第 25 回日本腰痛学会収支報告があった。

3 社会保険委員会について

山縣正庸理事より社会保険委員会について以下について報告があった。第 91 回日本整形外科学会学術総会の時に第 1 回日本腰痛学会社会保険委員会を開催し、方向性について話し合った。2020 年の診療報酬改定に向けて内保連に提出する要望について、日本腰痛学会評議員から募ったこと、保険請求についての広報を行っていくこと、JCOA を含め、内保連への要望提出を中心に行うことについて報告があった。

4 腰痛診療ガイドライン改訂版について

白土修評議員より原案が完成し、11 月にパブリックコメントを募集することが報告された。第 92 回日本整形外科学会学術総会までの発刊を目指している。

## 審議事項

### 1 第1号議案 平成29年度収支決算・監査報告

幹事より、本学会の事業年度が毎年9月1日から翌年8月31日であることが確認された。平成29年9月1日から平成30年8月31日までの収支決算について報告された。金山雅弘監事より、収支決算について領収書、通帳などの資料とともに鳥嶋康充監事と監査を行い、適正に行われていることが報告された。承認が得られた。

### 2 第2号議案 平成30年度事業計画案

幹事より学術集会開催、学会誌発行、委員会開催の予定について下記のごとく提案され、承認された。

1) 第27回学術集会の開催：2019年9月13日（金）、14日（土）

会長：市村正一理事（杏林大学）、会場：神戸国際会議場

2) 学会誌発行：2019年6月 JSR 第10巻6号

3) 委員会開催：2019年9月理事会、評議員会、編集委員会

随時 腰痛診療ガイドライン改訂版策定委員会、社会保険委員会

### 3 第3号議案 平成30年度予算案

2018年9月1日から2019年8月31日までの収支予算書に基づいて予算案が提案され、承認された。

### 4 第4号議案 次々々期会長の選出

次々々期会長について自薦、他薦はなかった。理事会で松本守雄理事（慶応大学）が推薦されたことが報告された。松本守雄理事の次々々期会長について承認された。

### 5 第5号議題 役員・評議員の推薦、辞任、特別アドバイザー就任、正会員・賛助会員推薦

理事長より以下について報告があり、審議が行われた。

1) 名誉会員の推薦：なし、特別会員の推薦：駒形正志先生が推薦され承認された。

2) 理事の推薦：なし

3) 評議員の推薦：加藤仁志先生（金沢大学）、高畑雅彦先生（北海道大学）、竹林庸雄先生（札幌円山整形外科病院）、戸川大輔先生（浜松医科大学）、渡邊和之先生（福島県立医科大学）が推薦され、承認された。

4) 理事の辞任：なし

5) 評議員の辞任：伊東学評議員の辞任が承認された。

6) 特別アドバイザーの推薦：なし

7) 正会員・賛助会員の推薦：岐部寛幸理学療法士（長崎百合野病院）、中村俊文理学療法士（北千葉整形外科）、三橋彩乃理学療法士（北千葉整形外科幕張クリニック）、峯玉賢和理学療法士（和歌山県立医科大学附属病院紀北分院）、諸澄孝宜理学療法

士（北千葉整形外科）、山田翔太理学療法士（名古屋市立西部医療センター）が推薦され、承認された。

8) 賛助会員の推薦：なし

1)～8)について承認が得られた。

#### 6 第6号議案 優秀論文賞の報告

理事長より13編の論文について、選考委員による厳正な審議の結果、東京医科歯科大学の平井高志先生の「神経障害性疼痛のメカニズム探索と分子標的による新規治療戦略」に決定したことが報告され、承認された。

#### 7 その他の審議事項

日本理学療法士協会への研究協力について：「腰部脊柱管狭窄症患者に対する運動療法の効果の検証」に関して、参加予定の医療機関に日本腰痛学会理事長から研究協力依頼を送ることにに関して承認が得られた。

#### 次期会長、次々会長挨拶

第27回学術集会会長の市村正一理事、第28回学術集会会長の山下敏彦理事から挨拶があった。第27回日本腰痛学会は、2019年9月13日（金）、14日（土）に神戸国際会議場で開催予定であることが報告された。第28回日本腰痛学会は、2020年10月30日（金）、31日（土）にロイトン札幌で開催予定であることが報告された。

所要の議事を全て終了したため、議長は、閉会を宣言した。

以上

平成30年10月25日

一般社団法人日本腰痛学会  
議長 理事長 紺野慎一